

カワイ 音楽教育 グレードテスト 課題

	6級	5級
実 技 Ⅰ	●リズムソルフェージュⅠ 当日提示されるリズム譜を、予見の後、次のいずれかで演奏すること。 1) ウッドブロック 2) カスタネット 3) タンプリン 4) ハンドクラップ *小節数:8小節 *予見時間:10秒(音出し不可) *1)～4)の選択は任意とする。	●リズムソルフェージュⅡ 当日提示される2パートからなるリズム譜を、予見の後、手と足を使って演奏すること。 *小節数:8小節 *予見時間:20秒(音出し不可) *手のパートは、ハンドクラップまたはボディクラップで演奏すること。 *試験会場にある椅子に座って演奏しても構わない。
	●歌唱Ⅰ 本要項P.37、38にある1～4の中から当日指定の1曲を歌唱すること。 *音名唱、階名唱などは自由。「ラララ～」や「ルルル～」などによる音高を示す歌い方でも可。 *カワイグレード認定委員会が最初の音を弾く。 *試験会場での楽譜はカワイグレード認定委員会で用意する。	●歌唱Ⅱ 子どもを相手にすることを想定して、下記のわらべうたより当日指定される1曲を、暗譜で歌唱すること。 1) くまさん くまさん 2) ひらいたひらいた *歌いだしの音は任意。 *遊び方などを実演する必要はない。 ★指定楽譜 本要項P.39
	●弾き歌Ⅰ 子どもに聴かせることを想定して、下記より当日指定される1曲をピアノで弾き歌いすること。 1) 「あめふりくまのこ」 鶴見正夫 作詞／湯山 昭 作曲 2番まで(2番を歌い終えたら、伴奏はCodaへ) 2) 「びわ」 まど・みちお 作詞／磯部 倅 作曲 フルコーラス *暗譜、視奏は自由。 *前奏、後奏がある場合は、それらも演奏すること。 *試験会場での楽譜はカワイグレード認定委員会で用意する。 ★指定楽譜 『子どもと歌おう』(カワイ出版)	●弾き歌Ⅱ (コードによる弾き歌Ⅰ) 子どもに聴かせることを想定して、下記より当日指定される1曲を、指定された調で、ピアノで弾き歌いすること。当日提示する楽譜には、コードネーム、メロディ、歌詞が記載されている。 1) 「せんせいとおともだち」 吉岡 治 作詞／越部信義 作曲 2番まで 出題範囲:ニ長調(D, D [♯] , G, A [♯]) 変ロ長調(B [♭] , B [♮] ₇ , E [♭] , F [♯]) 2) 「ぞうさん」 まど・みちお 作詞／團 伊玖磨 作曲 フルコーラス 出題範囲:変ホ長調(E [♭] , F, B [♭] , B [♮] ₇ , Cm) ト長調(G, A, D, D ⁷ , Em) *予見時間:1分(音出し不可) *伴奏は両手で演奏すること。伴奏には、指定されたコードの構成音を含むこと(＝バスとメロディのみでの伴奏は不可)。 ★参考楽譜 『子どもと歌おう』(カワイ出版) ★参考図書 『かんたんメソッド コードで弾き歌Ⅰ』(カワイ出版) または『かんたんメソッド コードで弾き歌Ⅰ』(改訂版) (カワイ出版)
実 技 Ⅱ	●絵本の読み聞かせ 下記より任意の1つを、子どもに聞かせるつもりで実演すること。 1) 「ぴーちゃんにじにのる」 まついいりこ 作(偕成社) 2) 「ぐりとぐら」 なかがわりえこ 作／おおむら ゆりこ 絵(福音館書店) 3) 「てぶくろ」 ウクライナ民話／エウゲーニー・M・ラチョフ 絵 うちだ りさこ訳(福音館書店) *絵本を審査員が見えるように持ち、実演すること。 *試験会場での絵本はカワイグレード認定委員会で用意する。 *絵本以外の道具の使用は不可。	●手や身体を使った遊び歌の実演 実際のレッスンを想定して、下記より当日指定の1曲を、手や身体を使って暗譜で2コーラス実演すること。なお、2コーラス目は替え歌にするなど、自由に展開すること。 1) 「まあるいたまご」 作詞者不詳／イギリス曲 2) 「頭・肩・ひざ」 作詞者・作曲者不詳 *歌いだしの音は任意。 ★指定楽譜 本要項P.40
実 技 Ⅲ	●身体活動Ⅰ 当日、課題となる音楽を聴き、その音楽の拍子や拍子の変化を捉えて拍や拍子をステップすること。 出題範囲:2/4、3/4、4/4、6/8 *課題となる音楽を事前に聴くことはできない。 *以下の例を参考に、拍子を捉えてステップする。 	●身体活動Ⅱ 当日、課題となる音楽を聴き、その音楽の拍子や拍子の変化を捉えて拍や拍子をステップすること。 出題範囲:2/4、3/4、4/4、5/4、6/8、7/8 *課題となる音楽を事前に聴くことはできない。 *身体活動Ⅰの例や以下の例を参考に、拍子を捉えてステップする。
筆 記	●ピアノ導入期の音楽レッスンに関する論述 以下の内容について、試験当日、制限時間以内に論述すること。 制限時間:60分 次の質問それぞれに答える形で、あなたの考えを記述してください。 ①レッスンにおいて、初めてピアノを習う子ども(未就学児)とコミュニケーションをとる際に、どういった点に留意しますか? その留意点と留意点に配慮したコミュニケーションの取り方について、具体例を挙げながら記述してください。 ②初めてピアノを習う子どものレッスンにおいては、正しい弾き方や読譜などを学ぶ前に、ピアノの鍵盤を自由に鳴らしたり、鍵盤以外の部分に触れたりするなど、ピアノそのものに親しむ時間を設けることも大切だと考えられます。このことを踏まえ、初めてピアノを習う子ども(未就学児)のレッスンにおいて、ピアノへの興味を育むためにどのような活動を行いますか?具体的に記述してください。	●幼児を対象とした音楽レッスンに関する論述 以下の内容について、試験当日、制限時間以内に論述すること。 制限時間:60分 子どもを対象としたレッスンにおいては、手遊びや、リトミック活動のように、手や身体を使った音楽活動が重要です。手や身体を使った音楽活動の意義を述べたうえで、実際に、それらの音楽活動をどのようにレッスンに取り入れるかについて、具体例を挙げながら、あなたの考えを記述してください。

※ここに記載されている課題は、2025年4月～2026年3月までのものです。

4級	3級
●歌唱Ⅲ 子どもに聴かせることを想定して、下記の2曲を無伴奏で歌唱すること。 1) 「こぎつね」 勝 承夫 作詞／ドイツ民謡 2番まで 2) 「おつかいありさん」 関根栄一 作詞／團 伊玖磨 作曲 フルコーラス *暗譜、視唱は自由。 *歌いだしの音は任意。受験者が歌いだしの音を口頭で伝え、カワイグレード認定委員会がその音を弾いてから歌唱する。 *試験会場での楽譜はカワイグレード認定委員会で用意する。 ★指定楽譜 『子どもと歌おう』(カワイ出版)	●模擬レッスン 以下の要件を満たしたうえで、未就学の複数の子どもたちを対象とした模擬レッスンを行うこと。 また、レッスンの内容についてレッスンプランを作成し、当日受付に提出すること。 ①出版されているうたの楽曲を2曲以上、使用すること。 (手遊び歌、わらべうたなど種類は問わない) ②ピアノを活用する活動を含めること。(弾き歌いや効果音など) ③レッスンの展開には、幼児が容易に理解できるようなストーリー性を持たせること。 ④レッスンプラン内の「本レッスンの音楽的な学習のねらい」に基づき、子どもたちが活動の中で何をどのように経験し、深めていくかが分かるよう、レッスンを構成すること。 *実演時間:10～15分程度 *伴奏者の同伴や楽器の持ち込みは自由とする。 *試験会場の準備品はピアノ、CDの再生機器のみ。 ※CD以外の音源を使用する場合、再生機器は各自で用意すること。 *レッスンプランのフォーマットはカワイグレードテストホームページからダウンロードできる。 パソコン等を使用できる環境にない場合は、フォーマットに記載されている内容を全て含めたうえで、手書きなどでの提出も可能。 *提出するレッスンプランの部数は4部とする。 *提出されたレッスンプランは返却しない。
●弾き歌Ⅲ (移調を伴う弾き歌Ⅰ) 子どもに聴かせることを想定して、下記より当日指定される1曲を指定された調に移調し、ピアノで1コーラス弾き歌いすること。以下の指定楽譜を当日提示する。 1) 「ちょうちよう」 作詞者不詳／外国曲(指定楽譜の調:ハ長調) 出題範囲:ニ長調、ヘ長調、変ロ長調、変ホ長調 2) 「はと」 文部省唱歌(指定楽譜の調:ヘ長調) 出題範囲:ハ長調、ト長調、ニ長調、変ホ長調 3) 「めだかの学校」 茶木滋 作詞／中田喜直 作曲(指定楽譜の調:ニ長調) 出題範囲:ハ長調、変ロ長調、変ホ長調 4) 「うみ」 林 柳波 作詞／井上武士 作曲(指定楽譜の調:ト長調) 出題範囲:イ長調、ヘ長調、変ホ長調 *予見時間:1分(音出し不可) *指定楽譜に記載された伴奏をそのまま移調する必要はない。 *伴奏は両手で演奏すること。伴奏は、和音の響きを感じられるようにすること(＝バスとメロディのみでの伴奏は不可)。 *試験会場での楽譜はカワイグレード認定委員会で用意する。 ★指定楽譜 1) 2) 『子どもと歌おう50』 3) 4) 『子どもと歌おう』(カワイ出版)	
●道具を使った遊び歌の実演 下記より任意の1曲を選び、ペープサートやパネルシアターなど、何らかの道具を作成し、その道具を用いて、4歳児向けのレッスンを想定して実演すること。 1) 「カレーライスのうた」 ともろぎゆきお 作詞／峯 陽 作曲 2) 「さかながはなて」 中川ひろたか 作詞・作曲 3) 「どこでもア」 成田和夫 作詞・作曲 *楽譜に遊びが併記されている場合、そのまま行う必要はなく、課題の曲を活かしながら独自の遊びを加えて構わない。 *実演時間:4分程度 *伴奏者の同伴や楽器の持ち込みは自由とする。 *試験会場の準備品はピアノ、CDの再生機器のみ。 ※CD以外の音源の再生機器や、パネルシアターで使用する台などは各自で用意すること。 *道具は、手作りでも市販の物でも可。 ★指定楽譜 『ジョイ・キャンプ』(カワイ出版)	
●活動のためのピアノⅠ 当日指定された2つの動作を導く即興演奏を展開すること。和音進行においては、T(トニック)、S(サブドミナント)、D(ドミナント)の3種類の機能を効果的に活用すること。 *出題範囲:歩く、走る、スキップする *準備時間:1分(音出し可) *演奏時間:活動するのに充分と思われる時間(目安としては1分程度) *動作から動作へと移行する際の音楽は、間を空けずに自然につなげて演奏すること。 *転調は任意。 ★参考図書 『みんなの即興』(カワイ出版) 『キーボードトレーニング集A』(カワイ出版)	●活動のためのピアノⅡ 当日指定された3つの動作を導く即興演奏を展開すること。なお、動作を効果的に変化させるために、デュナーミクとアゴーギクをそれぞれ一度は変化させること。 デュナーミクの変化は、1つの動作の中で行っても良い。また、複数の動作の間で行っても良い(例: <i>p</i> で静かに歩く→ <i>f</i> で元気に走る)。 アゴーギクの変化は、1つの動作の中で行うこと。ただし、動作の終わりに自然なrit.を用いる場合は、アゴーギクの変化としては、カウントしないこととする。 *出題範囲:歩く、走る、スキップする、揺れる、回る、ジャンプする *準備時間:1分(音出し可) *演奏時間:活動するのに充分と思われる時間(目安としては1分30秒程度) *動作から動作へと移行する際の音楽は、間を空けずに自然につなげて演奏すること。 *転調は任意。 ★参考図書 『みんなの即興』『キーボードトレーニング集A』『キーボードトレーニング集B』(以上、カワイ出版)
●音楽教育に関する論述 以下の内容について、試験当日、制限時間以内に論述すること。 制限時間:60分 子ども(幼児)にとって「あそび」は欠かすことのできない営みです。子どもの「あそび」の意義と、その意義を生かすために有効な音楽教育の方法について、具体例を挙げながら、あなたの考えを記述してください。	●音楽教育に関するレポート 指定図書を読み、3歳児の発達の特徴をふまえたうえで、どのように3歳児のレッスン(レッスン形態はグループ、個人のどちらでも可)を行うかについて、レポートを作成すること。(2,000字以上) *本要項P.42(レポート作成、提出要領)に基づくこと。 ★指定図書 『完全カラー図解 よくわかる発達心理学』 渡辺 弥生(監修)／ナツメ社

※審査完了の時点で演奏・実演の中止を指示する場合があります。 ※4級以上は2次審査の関係上、録音・録画を行います。(録音物・録画物の返却は致しません)